ECLIPSE

メモリーナビゲーション内蔵 ／ *Bluetooth*® ／ HDMI ／地上デジタル TV 7 型 WVGA AV システム

AVN-RS01

取付説明書

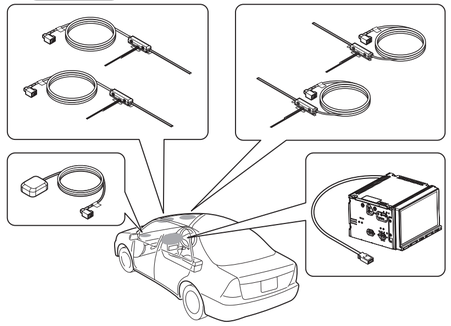
お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
- 安全運転のため、ご使用の前に「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

一販売店様へ一

取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお渡しください。

取付概要図



構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

❶メインユニット RS01 ×1		❷電源コード ×1
❸中継コード ×1	❹車両信号コード ×1	❺ハンズフリーマイク ×1
❻バックカメラコード ×1	❼B-CASカード ×1	❽取り付けねじ（M5×6） ×8
❾ショートコネクタ ×6		

●アンテナ関係

❿フィルムアンテナ（左側用） ×2	⓫フィルムアンテナ（右側用） ×2	⓬GPSアンテナ ×1
⓭クランバー ×4	⓮クランバー ×4	⓯金属シート ×1

地図はメインユニットに内蔵されています
その他の構成部品（取付説明書, 保証書等の資料類）

作業の進め方

1） 構成部品を確認する （☞ 構成部品）
2） バッテリーの⊖端子を外す
3） 接続を確認する （☞ 接続のしかた）、（☞ システム接続例）
4） GPS アンテナを取り付ける （☞ GPS アンテナの取り付け注意）
（☞ GPS アンテナの取り付け）
5） フィルムアンテナを貼り付ける （☞ フィルムアンテナ貼り付け上のご注意）
（☞ フィルムアンテナの貼り付け）
6） コードを配線する
7） ハンズフリーマイクを貼り付ける （☞ ハンズフリーマイクの貼り付け（例））
8） B-CAS カードの取り付け
9） メインユニットを取り付ける （☞ メインユニットの取り付け）
10） バッテリーの⊖端子を元に戻す
11） 設定および作動確認をする （☞ 取り付け後の設定／作動確認）

安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。
その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

：しなければならないことを表します。
：してはいけないことを表します。
：注意をしなければならないことを表します。

● 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス　知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

- ❶ 本機は DC12V ⊖アース車専用です。
  大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車等の 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。
- ❶ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。
  プラスとマイナスに線路のショートによる感電やケガの原因となります。
- ⃠ 本機を次のような場所には取り付けないでください。
  本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けないでください。
  交通事故やケガの原因となります。
- ⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。
  車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。
- ❶ ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。
  破片等が目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- ⃠ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。
  保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- ⃠ 本機を分解したり、改造しないでください。
  事故、火災、感電の原因となります。
- ❶ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- ⃠ 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。
  そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ❶ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ⃠ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。
  車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガの原因となります。
- ⃠ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。
  電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ❶ 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
  ショートにより火災、感電の原因となります。
- ❶ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくと事故の原因となり危険です。
- ❶ 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

⚠ 警告

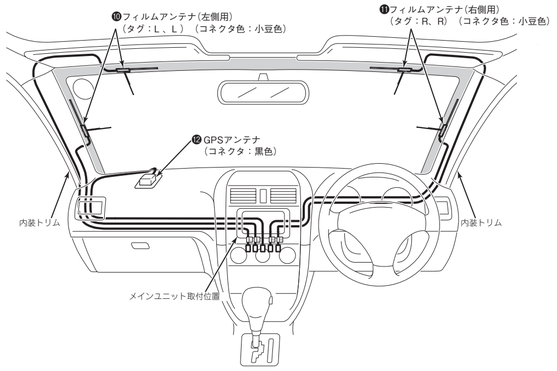
- ⚠ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ❶ 本書で指定された通りに接続してください。
  正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ❶ 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。
  安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
  誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。
- ⃠ 雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。
  本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ⃠ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。
  本機が外れて運転の妨げとなり交通事故やケガの原因となることがあります。
- ❶ しっかり確実に取り付けてください。
  走行中の反発等や経時等で、交通事故やケガの原因となります。取り付ける場所の水気や汚れ（はこり や油など）は、取り除いてください。取り付けの状態（接着やねじの ゆるみなど）を、ときどき点検してください。
- ⃠ 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ等へ取り付けないでください。
  金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
  また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- ⃠ 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
  通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ❶ コードが金属部に触れないように配線してください。
  金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ❶ コードの配線は、高温部を避けて行ってください。
  コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- ⃠ コード類を決して途中で切断しないでください。
  コード類には、ヒューズ等が付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- ⃠ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。
  機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- ⚠ コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。
  雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- ⃠ 本機を車載用として以外は使用しないでください。
  感電やケガの原因となることがあります。
- ❶ 本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
  取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ❶ 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。
  不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなったりする恐れがあります。

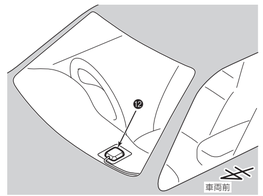
GPS アンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- ピラー配線時、内装トリムを取り外します（右側も同様）。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください（作業工費は、お客様にご負担いただく場合があります）。



GPS アンテナの取り付け

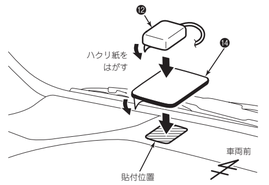
1 ⓬GPS アンテナの貼付位置を決める



① ⓬GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

アドバイス
- ⓬GPSアンテナは、照度センサー等を避け、電波の遮られにくい平らな場所に貼り付けてください。
  推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 ⓬GPS アンテナを貼り付ける



① ⓮金属シートのハクリ紙をはがす。
② ダッシュボードに⓮金属シートを貼り付ける。
③ ⓬GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
④ ⓮金属シートに⓬GPSアンテナを貼り付ける。

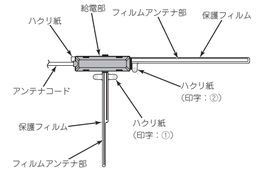
アドバイス
- ⓬GPS アンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

フィルムアンテナの貼り付け

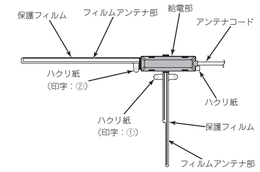
- フィルムアンテナ部を折り曲げないように取り扱いには十分注意してください。
- フィルムアンテナ部を強く曲げる、強く引っ張る、ハクリ紙を急にはがす等しないでください。断線の原因となります。
- 必要であれば仮止めをおこなって作業をしてください。貼り直しはできません。
- 粘着面は触らないでください。粘着力低下を引き起こすだけでなく、断線の原因となります。

フィルムアンテナ各部の名称

■ ⓾フィルムアンテナ（左側用）



■ ⓫フィルムアンテナ（右側用）



GPS アンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意

GPS アンテナおよびフィルムアンテナの取り付け上のご注意を表記しています。
必ずよく読んでから作業をおこなってください。

⚠ 注意
- GPS アンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPS アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。貼付位置を確認して慎重に作業を行ってください。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。
  必ず指示通りに取り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。
  詳しくはディーラ等にご相談ください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷める恐れがあります。

アドバイス
- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPS アンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードから、できるだけ離して取り付けてください。GPS アンテナコードがラジオ放送の音声を妨害する恐れがあります。
- GPS アンテナおよびフィルムアンテナの貼付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などを十分ふき取ってから取り付けてください。
- GPS アンテナおよびフィルムアンテナを貼り付ける際、気温が低い（20℃以下）ときやガラスが曇ってしまうときは、粘着面の粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できなかったりする恐れがあります。
  ＊ 指定位置や寸法を守らずに貼り付けた場合
  ＊ フロントガラスに内蔵されているアンテナに重ねて貼り付けた場合
  ＊ 特殊なフロントガラスやフィルム（ミラータイプ、熱線反射タイプや熱線吸収タイプ等）を使用している場合
  ＊ 車内または車両周辺にテレビ受信の妨げとなるような電磁波を発する機器がある場合
- 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
  ＊ ワイパーやエアコンを動作させたとき
  ＊ 電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところ等、電波状況の悪い場所にいるとき
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

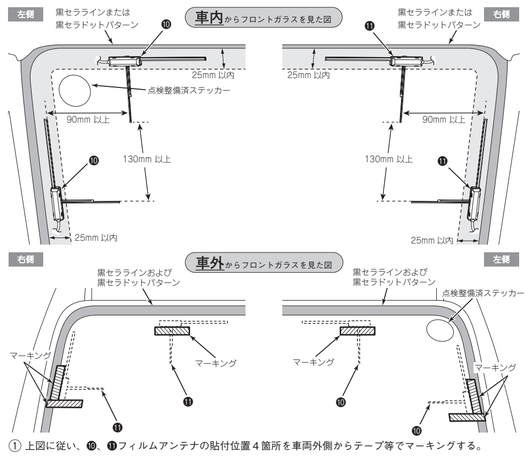
⚠ 注意
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部が黒セラライン※１または黒セラドットパターン※２から 25 mm以内に収まるよう貼り付けてください。

- ⓾、⓫フィルムアンテナを黒セララインおよび黒セラドットパターンにかかって取り付けても問題ありませんが、黒セラドット部の貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時は、はがれないよう注意してください。
- ⓾、⓫フィルムアンテナは、検査標章や点検整備済ステッカーと重ならないように貼付位置を決めてください。

※1 黒セラライン：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※2 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（点々）部分。

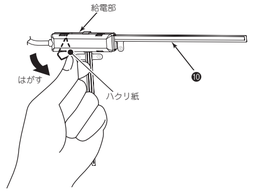
アドバイス
- 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。
- テープはフロントガラスに跡が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。
- フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分をクリーナー等でよくふき取ってください。

1 ⓾、⓫フィルムアンテナの貼付位置を決める



① 上図に従い、⓾、⓫フィルムアンテナの貼付位置４箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

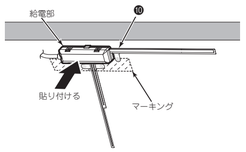
2 ⓾フィルムアンテナの給電部のハクリ紙をはがす



① ⓾フィルムアンテナの給電部のハクリ紙をはがす。

アドバイス
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

3 ⓾フィルムアンテナの給電部をフロントガラスに貼り付ける

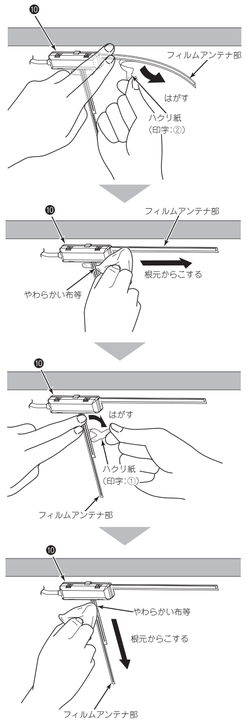


① 左図に従い、⓾フィルムアンテナの給電部の粘着面をフロントガラスのマーキングに合わせる。
② ⓾フィルムアンテナの給電部の粘着面をしっかり押さえ、フロントガラスに貼り付ける。

⚠ 注意
- 粘着力が低下するため、❾フィルムアンテナの給電部は貼り直さないでください。
- 給電部を貼り付ける際、手が給電部の粘着面や、貼付位置にふれないように注意してください。

アドバイス
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

4 フィルムアンテナ部をフロントガラスに貼り付ける



① ⑩フィルムアンテナのフィルムアンテナ部のハクリ紙(印字：②)をはがしながら、フィルムアンテナ部を根元から貼り付ける。

⚠ 注意
- フィルムアンテナ部は一度貼り付けると貼り直しできません。慎重に作業してください。

アドバイス
- 左手でフィルムアンテナ部を押さえながら根元から貼り付けてください。
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。以降の作業も同様におこなってください。

② フィルムアンテナ部をやわらかい布等で根元からこすってガラス面に定着させる。

⚠ 注意
- フィルムアンテナ部をこする際は、ヘラ等固いものを使用しないでください。
  フィルムアンテナ部の破損の原因となります。
- フィルムアンテナ部を布等で押さえる際、シワやキズがつかないように注意してください。

③ ⑩フィルムアンテナのフィルムアンテナ部のハクリ紙(印字：①)をはがしながら、フィルムアンテナ部を根元から貼り付ける。

⚠ 注意
- フィルムアンテナ部は一度貼り付けると貼り直しできません。慎重に作業してください。

アドバイス
- 左手でフィルムアンテナ部を押さえながら根元から貼り付けてください。

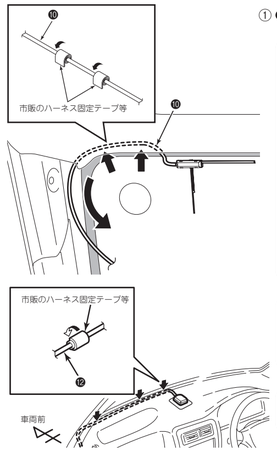
④ フィルムアンテナ部をやわらかい布等で根元からこすってガラス面に定着させる。

⚠ 注意
- フィルムアンテナ部をこする際は、ヘラ等固いものを使用しないでください。
  フィルムアンテナ部の破損の原因となります。
- フィルムアンテナ部を布等で押さえる際、シワやキズがつかないように注意してください。

5 残りのフィルムアンテナを貼り付ける

手順 **2**～**4** にしたがい、残りのフィルムアンテナを貼り付ける。

6 ⑫GPS アンテナコード、⑩、⑪アンテナコードを配線する



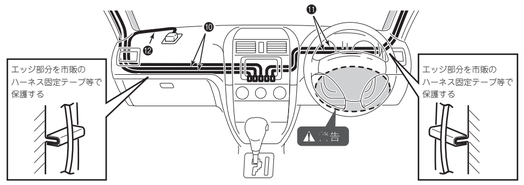
① ⑩⑪アンテナコードをルーフライニング内に収める。

アドバイス
- ルーフライニングを少し下げて⑩⑪アンテナコードを挿入してください。

- ⑩⑪アンテナコードがルーフライニングからはみ出す場合は、市販のハーネス固定テープを巻きつけてルーフライニング内に収めてください。
- フロントピラートリムに⑩⑪アンテナコードがかみ込む場合は、フロントピラートリムを切り欠いてください。
- 図は、⑫アンテナコードの配線を表しています。もう一方のアンテナコードおよび右側も同様に作業を行ってください。

⚠ 注意
- ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。
- ⑫アンテナコードを強く引っぱったり、負荷を掛けたり、かみ込んだりしないようにしてください。

アドバイス
- ⑫GPS アンテナコードは、ダッシュボード奥にコードを押し込みながら配線してください。



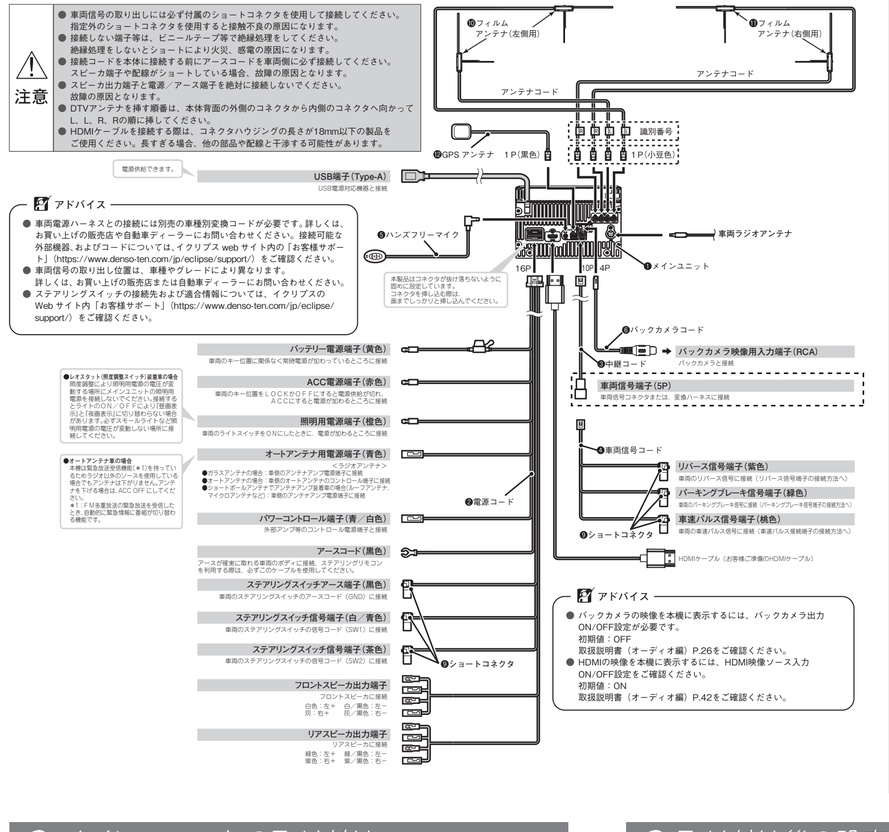
② ⑫GPSアンテナコードおよび⑩、⑪アンテナコードを⑱クランパーおよび市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでとめてください。
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

⚠ 注意
- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に市販のハーネス固定テープを貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm 以上離してください。
- コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。

● 接続のしかた

⚠ 注意
- 車両信号の取り出しには必ず付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。
  絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。
  スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源／アース端子を絶対に接続しないでください。
  故障の原因となります。
- DTVアンテナを挿す順番は、本体背面の外側のコネクタから内側のコネクタへ向かって L、L、R、Rの順に挿してください。
- HDMIケーブルを接続する際は、コネクタ ハウジングの長さが18mm以下の製品をご使用ください。長すぎる場合、他の部品や配線と干渉する可能性があります。



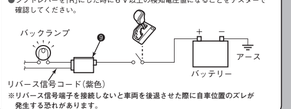
アドバイス
- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/) をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。
  詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリプスの Web サイト内「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/) をご確認ください。

アドバイス
- バックカメラの映像を本機に表示するには、バックカメラ出力 ON/OFF設定が必要です。
  初期値：OFF
  取扱説明書（オーディオ編）P.26をご確認ください。
- HDMIの映像を本機に表示するには、HDMI映像ソース入力 ON/OFF設定をご確認ください。
  初期値：ON
  取扱説明書（オーディオ編）P.42をご確認ください。

リバース信号端子の接続方法（紫色）

車両の後退を検知するために接続します。
車両のバックランプ(ハーネス等)(シフトレバーを[R]の位置にしたときに電圧が変化するハーネス)に接続してください。

●シフトレバーを[R]にした時に６Ｖ以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。

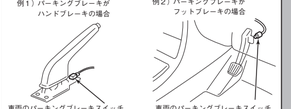


リバース信号コード(紫色)
※リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のズレが発生する恐れがあります。

パーキングブレーキ信号端子の接続方法（緑色）

車両の停車状態を検知するために接続します。
車両のパーキングブレーキスイッチの＋側ハーネスに接続してください。

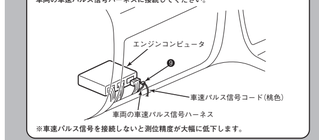
例１）パーキングブレーキがハンドブレーキの場合
例２）パーキングブレーキがフットブレーキの場合



車両のパーキングブレーキスイッチ＋側ハーネス
車両のパーキングブレーキスイッチ＋側ハーネス

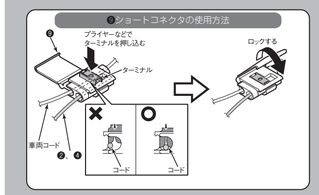
車速パルス接続端子の接続方法（桃色）

車両の走行を検知するために接続します。
車両の車速パルス信号ハーネスに接続してください。



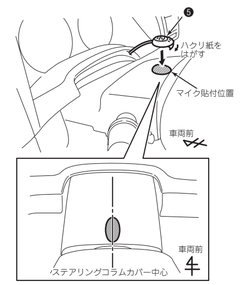
※車速パルス信号を接続しないと測位精度が大幅に低下します。

❷ショートコネクタの使用方法



● ハンズフリーマイクの貼り付け（例）

1 ❸ハンズフリーマイクを貼り付ける

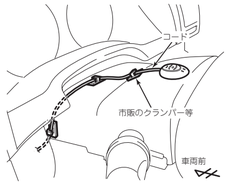


① ❸ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。

② ステアリングコラムカバーの中心に❸ハンズフリーマイクを貼り付ける。

アドバイス
- ❸ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ❸ハンズフリーマイクは、チルト・テレスコピック時に車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。

2 コードを配線する



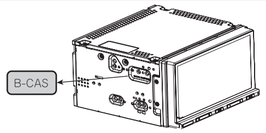
① ❸ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告
- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。
  ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

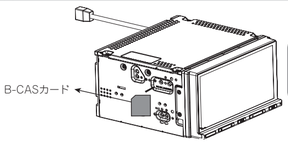
● B-CAS カードの取り付け

※ B-CAS カードの取り付けは、「メインユニット取り付け前に」必ず実施してください。

1 本体を正面から見た左側面にあるB-CASシールを剥がしてください



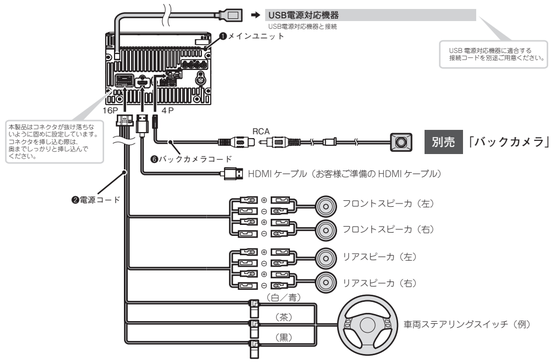
2 B-CASカードを本体に挿入してください



⚠ 注意
- 端子面を下向きに挿入してください。
- カードの表裏/前後方向を逆に挿入しないでください。
- B-CASカード取り付け後はB-CASシールを剥がしたままにしてください。

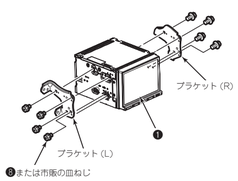
● システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。



● メインユニットの取り付け

1 車両のオーディオ、小物入れを取り外す



① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り外す。

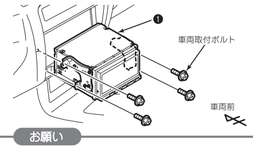
② オーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外す。
- オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用するブラケットは、車種により異なります。
  詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

③ B-CASカードが挿入されているか確認してください。

④ ❶メインユニットにブラケットを取り付ける。

アドバイス
- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。車種別の情報はイクリプス web サイトお客様サポート内の「ジャストフィットガイド」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/justfitguide/) をご確認ください。
- 必ず付属のねじを使用してください。
  取付ねじは、必ず指定のねじ（M５×６）を使用してください。
  指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。
  皿ねじが必要な場合は、市販されている皿ねじ（M5×6）を準備して使用してください。

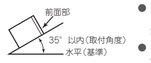
2 ❶メインユニットを車両に取り付ける



① ❶メインユニットに各コードを接続する。

② ❶メインユニットを車両に取り付ける。

お願い
- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置ズレ等のおそれがありますので、できるだけ水平に対して、35°以内の角度で取り付けてください。

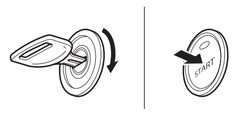


- ディスプレイを手で押さえないでください。
  車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。

- センターコンソールの形状によっては、シフトレバー等に接触する場合があります。
  詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- メインユニットの取り付けが終わるまでパネルの保護シートは外さないでください。パネルの保護シートを外した状態でメインユニットの取り付けを行うと、ディスプレイに傷が付く恐れがあります。
  また、操作時は必ず保護シートを外してください。外さないで使用するとタッチパネルが正しく動作しないことがあります。

● 取り付け後の設定／作動確認

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 初期設定をする

お願い
- 本体や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① パーキングブレーキがかかっている事を確認してから、本体画面 現在地 ボタンを押す。

② メニュー をタッチする。

③ ナビ設定 をタッチする。

④ をタッチする。

⑤ GPS・センサー情報 をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

お願い
- GPS 受信感度
  しばらく経っても GPS 測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPS アンテナの接続状態を確認してください。
- 車速パルス
  GPS・センサー情報画面で走行すると車速パルス信号の状態を確認することができます。
  走行中、パルス回数表示が「０回」から変わらないときは、車速パルス信号の接続状態を確認してください。
- パーキング信号
  パーキングブレーキがかかっている場合、表示が“ON”に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が“OFF”に変わります。
  表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リバース信号
  バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が“OFF”に、バックギヤにシフトしている場合、表示が“ON”に変わります。
  表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。
- 初めて+B ON & ACC ONした後、加速度センサーやジャイロセンサーの調整、初期化を行うため、ACC ON状態で3分ほど停車することを推奨します。

輸入元：トリチアジャパン株式会社